

「介護革命」実践する戦略ツール

経営者と現場スタッフで作成

介護業界のDX（デジタルトランスフォーメーション）加速を目的にシステムの企画・開発を行うオリエンテクノロジ（東京都品川区）は10月、業務効率化削減システム「VIV-A3Q」（ビバサンキュー）の本格販売を開始した。

新型AIカメラ活用 介護施設用システム



オリエンテクノロジ 北山智康社長

VIV-A3Qは同社が標榜する「介護革命」実現のための戦略ツール第1弾となる。「介護革命」とは、見守り、認知症対応、排せつ介助をシステム化した統合し、DXを促進していくことで、介護職員が望む真の意味での介護業務を実現させていくという狙いがある。第1段階はAIカメラを駆使した業務負荷の25パーセント削

「介護ビジネスの未来を創る」
週高齢者住宅新聞
Elderly Press Newspaper

2020年(令和2年)
10月7日
第601号 (毎週水曜日発行)

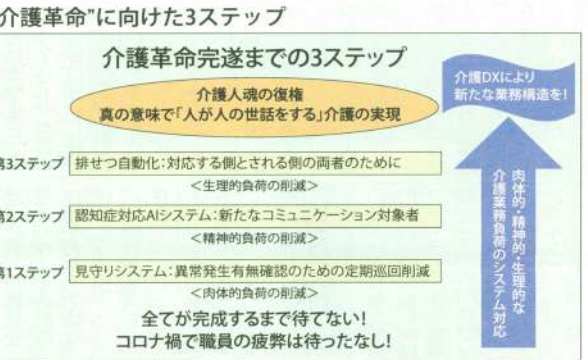
(株) 高齢者住宅新聞社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
☎03-3543-6852(編集部)
発行人 梶谷敏政
年額購読料 23,100円(送料込・税込)
ホームページ
<https://koureisha-jutaku.com>



「AIカメラは導入実験開始時点で6割ほどの検知率ですが、使えば使うほど環境学習が進み、最終的に97パーセントまで精度が向上しました。」(北山智康社長)

減、第3段階は認知症対応AIシステム導入による精神的負荷の削減、そして最後の第3段階は排泄処理の自動化で生理的負担の削減を狙う(下図参照)。第1弾のVIV-A3QではAIカメラを用い、環境学習が可能になり、成長する統合型見守りシステムとして商品化した。本システムは既存の見守りシステムと違い、当初から介護業務を削減することを目的として企画。その企画段階から検証まで介護職員が開発チームの中心として参画し、現場環境の中で開発・検証。その結果、実際の日々の介護業務フローにおいて、定期巡回を確実にかつ不安なく削減するために必要な機能を実現したという。VIV-A3Qは、AIカメラ・生体センサー・トイレセンサー・温湿度センサーの4種類のセンサーを搭載。一番の特徴はAIカメラの導入であり、既存のシステムで課題となっていた人物以外の誤検知や見落としに対し、改善できたという。

また、転倒姿勢のパターンは現時点で計38パターンを登録。転んだ拍子に体の一部がカメラから隠れる場合でも、転倒を正しく認識できる。このパターン化には現場スタッフの経験した利用者の転び方の実例や意見を取り入れて精度向上させている。生体センサーは、ベッドのマット下に設置するマットセンサーが心拍と呼吸、離床情報を検知。また、トイレセンサーでは熱源を感知する方式のため、トイレに長時間閉じこもっている場合などに異



普通知アラートが鳴る仕組みだ。そのほかにも温湿度センサーを含め、センサ全てに反応が設定可能なため、各利用者に合わせた運用がみです。居室確認の連付きシステムに比較し、

「夜間に室内3つのセンサー全てに反応が検出された場合は、徘徊と見なされ、従来はカメラセンサーで検知していたものを、居室確認の連付きシステムに比較し、

「夜間に室内3つのセンサー全てに反応が検出された場合は、徘徊と見なされ、従来はカメラセンサーで検知していたものを、居室確認の連付きシステムに比較し、

汚れの数値化で感染症対策 施設・レストランで除菌調査



EFAラボラトリーズ 亀元宏宣代表

アスベストの分析・除染作業などを手掛けるEFAラボラトリーズ(東京都千代田区)は、除菌作業を行った前後でその箇所にとのくらい細菌やウイルスが残っているかを調査する「消毒ワークシヨップ」を飲食店や高齢者施設向けに開始した。本サービスは同社がこれまで

「汚れを数値化して掃除方法を改めて確認した結果、ウイルスなどの感染対策につなげてほしい」と思っています(亀元代表)

「夜間に室内3つのセンサー全てに反応が検出された場合は、徘徊と見なされ、従来はカメラセンサーで検知していたものを、居室確認の連付きシステムに比較し、

OMRON

パッと測定 サッと記録

約1秒で測定! 約40秒で測定!

消毒不要 10月末発売 効率UP!

自動でデータ化

2020年12月末までのお申し込み受付分まで
月額490円の利用料ずっと無料!

●体温計・血圧計データを自動送信&記録
●データのグラフ化も自動で簡単

※「バイタル」サービスのご利用には株式会社プライト・ヴィーとの契約が必要です。

オムロンヘルスケア株式会社